

公開研究会『大学評価と青年期の発達保障を考える(1)』

「市民の力」としての学問の創出をめざし、大学のあり方を考える

大学評価学会は「発達保障分科会」を設けて、「すべての青年のための権利としての大学教育」のあり方に関わる研究を行っています。子ども期から成人期への移行が長期化・複雑化・多様化する現在、青年の発達は「困難さ」と「新しい可能性」の両方の様相を呈しているように思われます。青年たちとともに歩み、ともに育つ大学・社会・教育制度・行財政制度とはどのようなものであるべきなのか、多くの皆様と考えたいと思います。是非、ご参集ください。

※「青年期」という言葉がさす年齢は研究者・研究領域によって異なりますが、ここでは子ども期と成人期の間の10-20歳代をさして「青年期」と呼んでいます。

【日時】2016年7月23日 14:00～16:30

【場所】愛知工業大学本山キャンパス 306 講義室
(〒464-0807 名古屋市千種区東山通1-38-1)

【アクセス】地下鉄東山線「名古屋駅」から乗車、「本山駅」で下車、徒歩1分
<http://www.ait.ac.jp/access/motoyama/>

【内容】

- (1) 講演1：中嶋哲彦（名古屋大学）「大学・学問の大衆化と大衆の自己解放」
- (2) 講演2：中山弘之（愛知教育大学）「短期大学における教育実践と教職員集団」
- (3) 質疑・討論
司会：西垣順子（大阪市立大学）

【その他1】参加費は不要です。

当日参加も歓迎しますが、資料準備の都合がありますので、参加希望の方は下記連絡先までご一報くださると助かります)

連絡先：西垣順子（大阪市立大学）

メールアドレス nishigaki@rdhe.osaka-cu.ac.jp

FAX: 06-6605-2128

【その他2】

本研究会は、大学評価学会（編）「シリーズ『大学評価を考える』第7巻 大学評価と『青年の発達保障』」（晃洋書房）の発行を記念して行います。本書は当日会場でも購入できます。

研究会の開催にあたり、科研費（No.26380892）の助成を受けています。

